

0.G アドバイザーからのメッセージ

高専を進路の一つに！

よしだ るみ
吉田 瑠美

2006年度 コミュニケーション情報学科卒業(現 ビジネスコミュニケーション学科)

2008年度 専攻科ビジネスコミュニケーション学専攻修了

福島高専 総務課総務・広報係 主任

私は高専に入学してから約20年この学校に通っています。途中、茨城大学に出向したり、産休・育休をいただいたりもしましたが、今や人生の半分以上を高専で過ごしています。そんな私も中学3年生になるまでは高専を知りませんでした。担任の先生の勧めで、受験することになったくらいです。私は、「こうなりたい」「これがやりたい」といった目標がないタイプの学生でした(今でも大きくは変わっていません)。そんな私でも、高専でたくさんの知識を得て、経験を重ね、色々な方に出会い、自分の将来を考えていきました。時間をかけて自分の将来を考えられるのは、高専の特徴だと思います。また、担任や指導教員、キャリア支援室、スクールソーシャルワーカー(SSW)などサポート体制も充実しています。そうしたサポート体制により、高い就職率と国立大学への進学率が続いているのだと思います。今、具体的にやりたいものがある方、「技術者になりたい」「エンジニアになりたい」という方には、もちろん高専は適した学校です。ぜひ、高専でその目標をかなえてください。しかし、今はまだ何をしたいかわからないという人でも、5～7年間かけてゆっくり進路を考えられる高専は、メリットがある学校だと思います。また、高専は、勉強だけでなく、部活動・愛好会活動も頑張っている学生がたくさんいます。海外に興味のある方、行ってみたい方にはそのプログラムも準備されています。「高専＝勉強」「高専＝工業」だけではなく、様々な取り組みがあることを知ってもらえると幸いです。

みなさんの進路の一つとして、ぜひ高専も入れてみませんか？きっと未来の幅が広がると思いますよ。

男女共同参画・キャリア教育支援室の女子学生支援

1. 女子学生に対するキャリア・進路支援

2. 女子学生に対する勉学生活支援

3. 女子中学生の入学支援

キャリア・コンサルティング実施日／
毎週水曜日午後1:00～5:00

奥寺 絵里／2級キャリアコンサルティング技能士
(株)飛馬オープンカレッジいわき校

[コミュニケーション情報学科3期生(現 ビジネスコミュニケーション学科)/いわき市立玉川中学校]

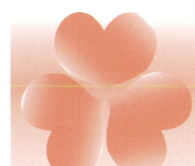


奥寺絵里さん



発行日／令和6年3月22日
福島工業高等専門学校 / 男女共同参画・キャリア教育支援室発行

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
URL <https://www.fukushima-nct.ac.jp>

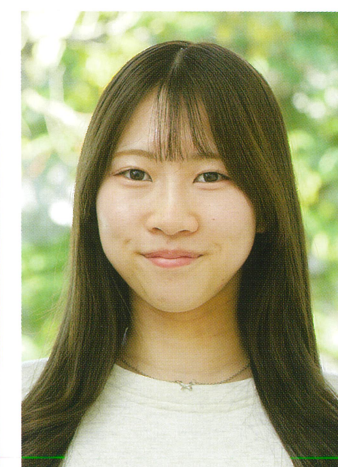
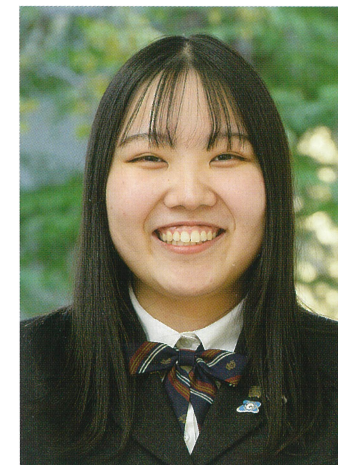
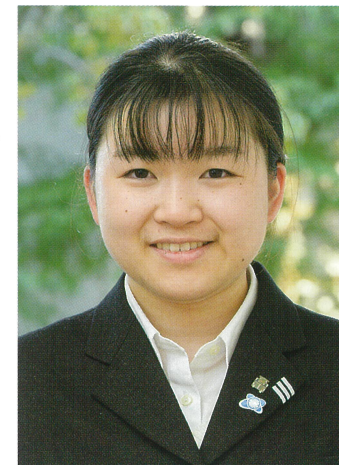


女子中学生のみなさんへ

NEW START

No.16

未来へ向かって輝く福島高専女子!!



福島工業高等専門学校 / 男女共同参画・キャリア教育支援室

未来へ向かって輝く福島高専女子!!

発表の経験を通して

ししど あおい
穴戸 葵
化学・バイオ工学科2年



私は東京で開催された関東磐越地区化学技術フォーラムでミニ研究をまとめた内容を発表し、優秀ポスター賞を受賞しました。初めは研究の内容が難しく感じましたが、担当の先生に質問したり、発表の練習を繰り返したりすることで理解を深めることができました。低学年でも研究に触れ、発表する機会があるのは高専だからこそだと思います。会場で学年を問わず他校の皆さまとも交流できたのもよい経験でした。この経験を活かして、今後も様々なことにチャレンジしたいです。

関東磐越地区
化学技術フォーラム▶



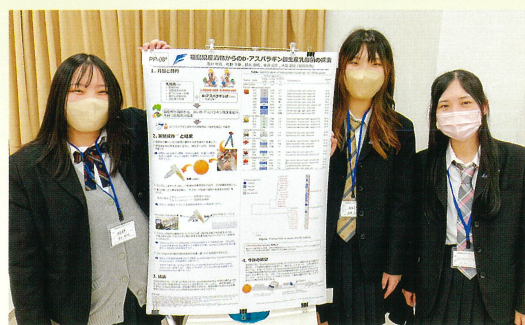
◀校長室報告

化学技術フォーラムに参加して

かめい ももか
さの 桃佳
佐野 心ゆか
すずき 冬華
鈴木 なお
南帆
化学・バイオ工学科3年



私たちは11月18日に東京で開催された第9回関東磐越地区化学技術フォーラムで、「福島県産漬物からのD-アスパラギン酸生産乳酸菌の探索」という研究テーマでポスター発表をし、ポスター発表奨励賞を受賞しました。フォーラムでは、高専生や大学生の発表が多かったこともあり、やや難しい内容もありましたが、普段触れることの無い分野にも目を向けることができました。これから学習を深めていく化学の分野において、視野を広げる良い機会になったと思います。また、研究するにあたって、乳酸菌の分離や抽出などの専門的な実験のスキルを身につけることができ、大きな成果と達成感を得ることができました。皆さんも、一緒に充実した学生生活を送りませんか？



◀ポスター発表
奨励賞受賞

5年間を通じて 得た成果

さかもと あい
坂本 愛
化学・バイオ工学科5年



私には夢がありその第一歩が高専入学でした。この5年間で様々な挑戦や不断的努力を積み重ねた結果、夢の第二歩目となる志望大学への合格を掴み取ることができました。特に卒業研究では、世界初となる課題に挑戦し、聴く力・理解する力・考察する力、を重要視し取り組んできました。その結果、自らの研究成果で学会発表し、優秀講演賞を受賞することができました。今後は、高専で培った知識や人的ネットワークを養うスキルを活かし、夢の実現に向けて進み続けます。



▲研究室での様子
▲第14回CEセミナー優秀講演賞受賞

高専デザコン全国大会を経て得た学びと経験

かどわき まのん
門脇 真音
むなかた あやの
宗像 彩乃
よしだ りな
吉田 里奈
都市システム工学科4年



大会で受賞した経験を通して、製作も重要なことの1つではありますが、なにより作業効率の良さが大切であると感じました。近年、都市デザイン研究会の部員不足が問題視されていましたが、それぞれの得意分野を分析し、効率よく進められるよう分担して行いました。また、先生や企業の方に実際の橋梁構造を例としてアドバイスをいただいたことで、柔軟な発想ができ、作品の出来栄え向上に繋がったと感じました。

多くの知識があれば、それに伴って様々な考え方ができるようになります。そのため、就職後もインプットとアウトプットを心掛けていきたいと考えています。



▲高専デザコン全国大会



▲審査員特別賞受賞



▲大会出場メンバー集合写真

達成感を味わった研究活動

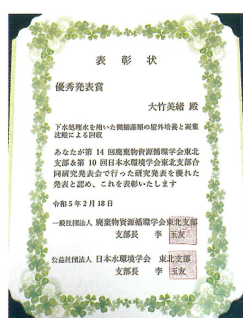
おおたけ みお
大竹 美緒
専攻科産業技術システム工学専攻
社会環境システム工学コース2年



私は、下水処理水を基質とした微細藻類の培養とその活用方法について、研究に励んでおり、昨年度、成果を発表した日本水環境学会東北支部において、優秀発表賞を受賞することができました。研究を始めた当初は知識がなかったですが、先生や研究室のメンバーにわからないことを聞いたり、自分で調べたりすることで成果を出すことができました。来年からは社会人になりますが、高専生活で得た知識や経験を活かして、仕事に励みたいと考えています。



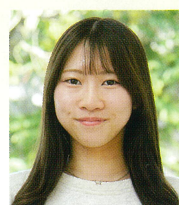
▲回収した粉末藻類バイオマス



▲いただいた表彰状

挑戦と努力の大切さ

みどりかわ あいり
緑川 愛里
専攻科産業技術システム工学専攻
社会環境システム工学コース2年



私は専攻科に入学以降、緩速ろ過池の安全性の強化と維持管理の負担軽減のためのろ過技術について研究を行ってきました。本科までは他の研究室に所属していたため、研究は1からのスタートでした。初めは何もわからない状態でしたが、熱心に研究に取り組んだ結果、令和4年度土木学会東北支部技術研究発表会にて研究奨励賞を受賞することができました。今後は積極的に物事に挑戦し、自分の付加価値を高めていきたいです。



▲浄水場調査の様子



研究奨励賞受賞▶

学会発表の経験

むらかみ さあや
村上 紗彩
ビジネスコミュニケーション学科5年



私は4年生の時に研究を学会で発表し、賞をいただきました。研究というのは簡単に言うと何か新しいことをちゃんと筋道立てて発見することかと思います。学会発表では同じ分野で他の学生がどれだけ進んでいるかを感じられ、自分の環境と外を比べるいい機会でした。他の学生がすごい発表をしている中で、自分の研究が評価されて賞をいただけたのですごく嬉しかったです。新しいことを発見する楽しさを感じられたので、今後は教授の道も考えています。



▲情報処理学会全国大会にて奨励賞受賞

これまでの研究生活と今後

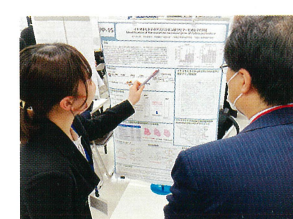
ささき みゆ
佐々木 心優
専攻科産業技術システム工学専攻
化学・バイオ工学科コース1年



私はこの2年間研究生活で、研究の難しさと楽しさ、どちらも学ぶことができたと感じます。実験条件の検討を重ね、試行錯誤していく中で結果が得られた際には、大きな達成感も得ることができました。さらに、第9回関東磐越地区化学技術フォーラムでは賞を受賞することができ、今後の研究生活のモチベーションにもつながりました。これをバネにして、残りの1年間、さらに研究に進進していけたらと思います。



▲普段の研究の様子



▲優秀ポスター賞受賞